



ELSEVIER

eReview Foundation

医学教科書データベース

2020/08

エルゼビア・ジャパン株式会社



eReview Foundation概要

- 主要基礎医学の教科書を全文電子化したデータベース。
- 串刺し検索で、関連教科書を一度に閲覧。
- eReview Assessmentからの関連リンクで、より詳細な解説を提供。

eReview Foundation 前頭骨

すべて 症状・疾患 画像

グレイ解剖学 > 8 頭頸部 > 局所解剖 (2) (New)

嗅頭

孔の後方は、[嗅頭]鼻部につながっている。鼻腔は、次のようにして隔壁器官から隔てられている。正中にある鼻中隔が左右の鼻腔を分ける。硬口蓋が下方の口腔と鼻腔を隔てる。前頭骨、篩骨、蝶形側頭窩と側頭下窩

グレイ解剖学 > 8 頭頸部 > 局所解剖 (1)

頭蓋

孔の後方には、[嗅頭]鼻部につながっている。鼻腔は、次のようにして隔壁器官から隔てられている。正中にある鼻中隔が左右の鼻腔を分ける。硬口蓋が下方の口腔と鼻腔を隔てる。前頭骨、篩骨、蝶形側頭窩と側頭下窩

頭蓋冠は、主に左右の側頭骨、左右の頭頂骨、無対の前頭骨・蝶形骨・後頭骨からなる。頭蓋底は、主に蝶形骨・側頭骨・後頭骨からなる。内視頭蓋を形成する骨は、左右の鼻骨・口蓋骨・涙骨・頬骨・上顎骨・下鼻

茎乳突起とその近傍の病変 プテリオン骨折

eReview Foundation 前頭骨

8 頭頸部 > 局所解剖 (1)

問題を解く >> (目次やガイドを見る)

頭蓋

頭部の骨格は、其小骨を除くと、22個の骨からなる。下顎骨以外の骨は結合によって連結しており、互いに動くことがなく、頭蓋 (Cranium) として1つにまとまっている。頭蓋は次の構成に区分される。

- 頭蓋冠 (Calvaria) は、脳を包む頭蓋骨を形成する。
- 頭蓋底 (base of the cranium) は、頭蓋の底を形成する。
- 顔面骨 (facial bones) は、顔面を形成する。

頭蓋冠は、主に左右の側頭骨、左右の頭頂骨、無対の前頭骨・蝶形骨・後頭骨からなる。頭蓋底は、主に蝶形骨・側頭骨、左右の頭頂骨、無対の前頭骨・蝶形骨・後頭骨からなる。内視頭蓋を形成する骨は、左右の鼻骨・口蓋骨・涙骨・頬骨・上顎骨・下顎骨と無対の歯骨である。下顎骨は、頭蓋冠と頭蓋底のいずれにも含まれない。

上 顔面

頭蓋の前部には上方に額 (額頭部) (Forehead) があって、その下方に鼻梁、鼻部 (Nasal region)、鼻部と上顎の間の顔面部分、上顎、下顎がある (図5-18)。

図5-18 頭蓋の構成



図5-18 頭蓋の構成

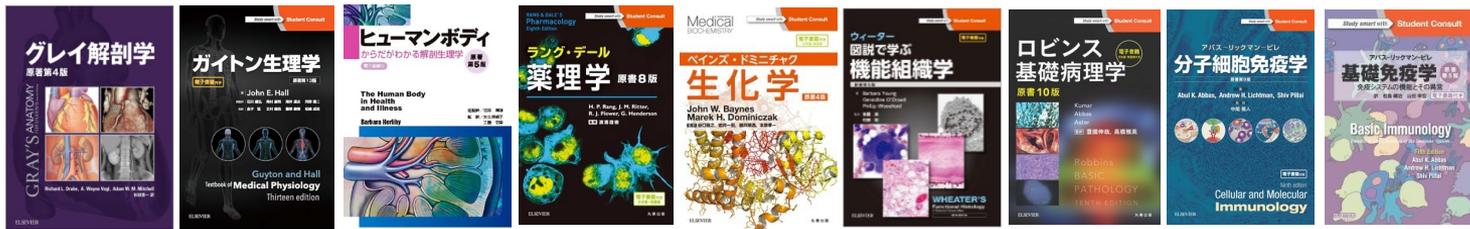
頭蓋冠 (Calvaria) は、脳を包む頭蓋骨を形成する。頭蓋底 (base of the cranium) は、頭蓋の底を形成する。顔面骨 (facial bones) は、顔面を形成する。

頭蓋冠は、主に左右の側頭骨、左右の頭頂骨、無対の前頭骨・蝶形骨・後頭骨からなる。頭蓋底は、主に蝶形骨・側頭骨、左右の頭頂骨、無対の前頭骨・蝶形骨・後頭骨からなる。内視頭蓋を形成する骨は、左右の鼻骨・口蓋骨・涙骨・頬骨・上顎骨・下顎骨と無対の歯骨である。下顎骨は、頭蓋冠と頭蓋底のいずれにも含まれない。

上 顔面

頭蓋の前部には上方に額 (額頭部) (Forehead) があって、その下方に鼻梁、鼻部 (Nasal region)、鼻部と上顎の間の顔面部分、上顎、下顎がある (図5-18)。

閲覧可能教科書一覧



基礎医学分類	原著名	翻訳書名
Anatomy (histology / embryology)	Gray's Anatomy for Students	グレイ解剖学
Physiology	Guyton & Hall Physiology Human Body	ガイトン生理学 原著第13版 ヒューマンボディ
Pharmacology	Rang & Dale's Pharmacology	ラング・デール薬理学 原書8版
Biochemistry	Medical Biochemistry	バインズ・ドミニチャク生化学 原書4版
Pathology	Wheater's Functional Histology	ウィーター 図説で学ぶ機能組織学
	Robbins Basic Pathology	ロビンズ基礎病理学 原書10版
Immunology	Cellular and Molecular Immunology	分子細胞免疫学
	Basic Immunology	基礎免疫学

電子教科書のデータベースの利用

eReview Foundation

虚血性心疾患

①キーワード検索

ロビンズ基礎病理学 > 11 心臓 >

虚血性心疾患

狭心症

狭心症angina pectorisとは、一過性で可逆的な心筋虚血により引き起こされる間欠性の胸痛のことである。この胸痛は虚血によって放出されるアデノシンやブラジキニン...

心筋梗塞 心筋梗塞の影響と合併症

ガイド生理学 > 第4部 循環 >

第21章 運動中の筋血流量と心拍出量：冠循環と虚血性心疾患

安静時と運動時の骨格筋血流量の調節

激しい運動は、全身で大きな割合を占める骨格筋に大量の血液を供給する必要があるために、正常な循環系にとって最も大きな負荷の1つとなる。運動時に骨格筋が必要の心拍出量は...

冠動脈の循環 ページトップ

ラング・ドール薬理学 > 3 主要臓器系に影響を及ぼす薬物 >

21 心臓

虚血性心疾患

には急性心筋梗塞やそれによる合併症である不整脈や心不全を起訴されたい。ここでは、この最も多い心疾患を治療するうえでの

心臓の生理学

ロビンズ基礎病理学 > 10 血管 >

アテローム性動脈硬化

アテローム性動脈硬化の病字

アテローム性動脈硬化は、事実上、多くの先進諸国においてありふれた疾患で、発展途上国においても警戒すべき速度で広まってきている。米国における虚血性心疾患の死亡率は世界で最も高く、日本の

約5倍で

体系的リスク因子

修正可能な主なリスク因子

③該当ページが開かれます。



第4部 循環 > 第21章 運動中の筋血流量と心拍出量：冠循環と虚血性心疾患

ガイド生理学 >

問題を解く >>>
(自己学習ガイドを見る)

ページトップ

安静時と運動時の骨格筋血流量の調節

冠動脈の循環

参考文献

図表

図21.1 強度の準動的運動を骨格筋に与...

図21.2 強い運動開始時における心拍...

図21.3 冠動脈

図21.4 収縮期と拡張期におけるヒト...

図21.5 心外膜、心筋内、心内膜下の...

図21.6 正常冠動脈系における微細動...

図21.7 虚血心筋領域における収縮期...

図21.8 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.9 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.10 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.11 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.12 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.13 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.14 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.15 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.16 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.17 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.18 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.19 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.20 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.21 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.22 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.23 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.24 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.25 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.26 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.27 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.28 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.29 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

図21.30 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心...

本章では、①骨格筋の血流量と、②心臓への冠動脈血流量について解説する。筋組織の代謝需要に応じて、主に血管抵抗が局所的に調節されて、これらの組織の血流量は制御されている。

さらに、①運動中の心拍出量調節、②心臓発作の特徴、③狭心症における胸痛、に関連した項目についても生理学的に考察する。

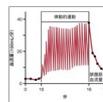


図21.1 強度の準動的運動を骨格筋に与...

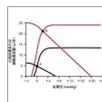


図21.2 強い運動開始時における心拍...



図21.3 冠動脈

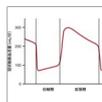


図21.4 収縮期と拡張期におけるヒト...

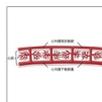


図21.5 心外膜、心筋内、心内膜下の各冠動脈の横断面図

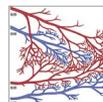


図21.6 正常冠動脈系における微細動...

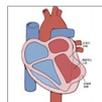


図21.7 虚血心筋領域における収縮期...

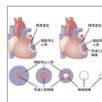


図21.8 虚血領域が小さい心臓 (上) と大きい心臓 (上) と心筋梗塞からの原発過程 (下)

②串刺し検索で、参照すべき教科書の該当箇所が提示されます。



ELSEVIER

eReview Assessmentとのリンク

問題 1/1

ヘパリンの副作用として起こり得るのはどれか。2つ選べ。

- 1. 血栓症
- 2. 大球性貧血
- 3. 骨粗鬆症
- 4. 催奇形性
- 5. けいれん

正解: 血栓症
骨粗鬆症

解説: (選択肢についての解説)
○「血栓症」
血栓症一見そうは思われなかもしれませんが、まれに血栓症が起こる場合がある起因性血小板減少症という疾患に関連している。ヘパリン起因性血小板減少症は2倍は存在すると思われる。血小板減少は、ヘパリンと血小板Ⅳ因子の複合免疫学的応答によるものである。
○「骨粗鬆症」
骨粗鬆症領域中のヘパリンの長期にわたる使用による自然骨折によって、骨粗鬆症。このメカニズムは分かっていない。
×「大球性貧血」
大球性貧血ヘパリンと大球性貧血が関連するという報告はない。
×「けいれん」
けいれんヘパリンとけいれんが関連するという報告はない。催奇形性ヘパリンとい。経口抗凝固薬において見られる有害反応である。

モデルコアカリキュラム番号 D-5-4-(2)-6 循環器系/疾患/虚血性心疾患
物治療(血行再建術:経皮的冠動脈形成術、ステント留置術、冠動脈バイパス術)

関連リンク: [ラング・デル薬理学 原著8版:24 止血と血栓症](#)

● 理解した ● 苦手

eReview Assessmentの
解答・解説より関連リンクで、
教科書にリンクできます。

eReview Assessment

3 主要臓器系に影響を及ぼす薬物 > 24 止血と血栓症
ラング・デル薬理学>

問題を解く>>>
(自己学習ガイドを見る)

ページトップ

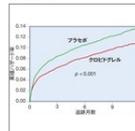
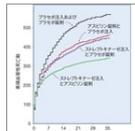
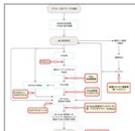
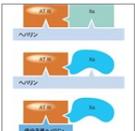
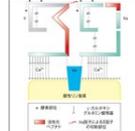
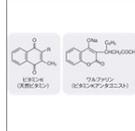
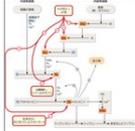
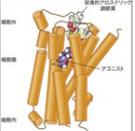
- はじめに
- 血液凝固
- 凝固カスケードに作用する薬物
- 血小板の報告と活性化
- 線維素溶解 (血栓溶解)
- 引用および参考文献

図表

- 図3.7 M4ムスカリン性受容体の構造。
- 図24.1 動脈血栓の形成における主要なイベント。
- 図24.2 凝固カスケード: 抗凝固薬の作用点。
- 図24.3 ビタミンKとワルファリン。
- 図24.4 Xa因子によるプロトロンビン (II 因子) の活性化。
- 図24.5 ビタミンKおよびワルファリンのメカニズム。
- 図24.6 ヘパリンの作用。
- 図24.7 血小板活性化。
- 図24.8 心筋梗塞に対するアスピリンおよびストロブチクマール剤の効果。
- 図24.9 アスピリンにクロピドグレルを追加した場合の効果。

■ ■ ■ 概要

この章では、血液凝固、血小板機能および線維素溶解の主な特徴を要約する。これらの現象は、止血および血栓症の根底にあり、出血性疾患（例えば血友病）、および、動脈（例えば、血栓性脳梗塞、心筋梗塞）と静脈（例えば、深部静脈血栓症、肺塞栓症）の両方の血栓性疾患の理解への基礎となる。血栓性疾患は患者数が多いため、抗凝固薬、抗血小板薬および線維素溶解薬は、特に重要である。



ご提案金額

製品	金額/年	対象
eReview (Foundation)	¥ 3,500,000	全学生

原著名	翻訳書名	本体価格
Gray's Anatomy for Students	グレイ解剖学	¥12,000
Gray's Anatomy for Students Flash Cards	グレイ解剖学フラッシュカード	¥4,000
Guyton & Hall Physiology	ガイトン生理学	¥15,000
Human Body	ヒューマンボディ	¥6,600
Rang & Dale's Pharmacology	ラング・デール薬理学	¥8,800
Medical Biochemistry	ベインズ・ドミニチャク生化学	¥8,800
Wheater's Functional Histology	ウィーター図説で学ぶ機能組織学	¥9,500
Robbins Basic Pathology	ロビンス基礎病理学	¥18,000
Cellular and Molecular Immunology	アバスーリックマンーピレ分子細胞免疫学	¥9,800
Basic Immunology	アバスーリックマンーピレ基礎免疫学	¥5,800
		¥98,300
		× 学生数

プリント版教科書を
購入した際の試算



ELSEVIER

お問い合わせ・デモのご要望は

エルゼビア・ジャパン株式会社

コンテンツ&ソリューション開発部

〒106-0044 東京都港区東麻布1-9-15東麻布1丁目ビル3階

Tel: 03-5561-5443 Mobile: 080-9025-8703

e-mail : s.nagashima@elsevier.com

